

将来計画への対応策について

平成 29 年 12 月末に実施した「将来計画アンケート」に対し、平成 30 年 9 月 22 日及び同年 11 月 10 日開催の臨時理事会でアンケート内容を分析し検討の結果、以下の通りの対応策とすることを平成 31 年 2 月 2 日開催の理事会・評議員会で審議、承認されましたのでお知らせいたします。

1. アンケートの総意

入寮希望者数の減少については少子化、集団生活の敬遠などの理由から止むを得ない傾向であるが、入寮希望者の増加策が万全を尽くしているとは思われないので、今後行なう増加策の結果を見極めた上で、具体的な施策を実施しても遅くないと思われる。

2. 入寮希望者数の増加対策

次頁の「入寮希望者増加策とその対応策」を参照。

3. 今後の将来計画について

上記 2. の「入寮希望者増加策とその対応策」を実施しながら入寮希望者数の推移を見守り、下記の A 案または B 案を実施する。見守る期間は概ね 5 年以内とする。

A 案

入寮希望者数の減少に歯止めがかかり、応募者数 50 名以上が継続するようであれば現在の建物及び運営方法を維持しつつ、建物の耐用年数を超える頃に寮の建て替えを実施する。

B 案

入寮希望者数の減少傾向に歯止めがかからず、応募者数 50 名未満が数年続くようであれば、寮存続のため現在の建物や運営方法を抜本的に見直し、女子寮の併設、在寮期限の緩和などはまなす会や後援会の総力を結集して、早急に安定運営が可能な施策を検討し、実施する。

以上

入寮希望者増加策とその対応策

	入寮希望者増加策	対応策
は ま な す 会	高校OB会でPR	東京・北海道はまなす会総会などで依頼する。
	著名な高校以外の高校へPR	OBなどに依頼し、訪問・パンフ送付を行なう。
	進学相談会などへのPR	平成30年11月1日開催の全道高校進路指導担当者総会時に依頼済み。
	現在の寮生へ入寮までの経緯などを聴取	アンケートを行ない、意見を参考にする。 (実施済み)
	受験業者による大学案内などのイベントに参加しPR	業者とのコンタクトを模索する。
	北海道で著名な個人塾へPR	個人塾の調査およびPRを行なう。
	年間を通じて募集	春季選考の他に平成31年から新たに秋季選考を行なう。
親 の 会	銀行窓口にパンフ備付	北海道の主な銀行へ依頼する。
	保護者会でPR	平成30年11月1日開催の全道高校進路指導担当者総会時に依頼済み。
	首都圏の大学入試でPR	具体的な対応が可能か検討する。
保 護 者	簡単なチラシを数多く配布	簡易パンフ対応済み。
	大学説明会でのPR	業者とのコンタクトを模索する。
	受験情報誌へ広告掲載	予算面など調査し、検討する。